

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.



(3,000円)

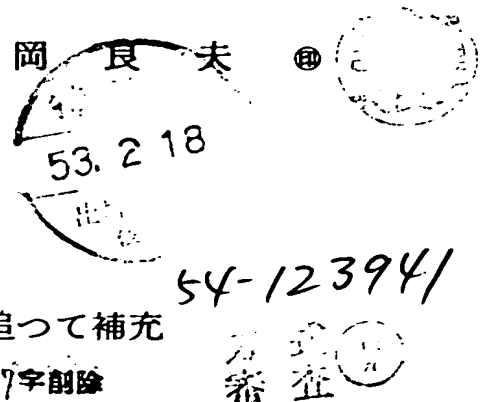
実用新案登録願

昭和 53 年 2 月 17 日

特許庁長官

殿

1. 考案の名称 ^{カミ}紙の^{トリダ}取出し^{グチ}口の^{コウゾウ}構造
2. 考案者
住所 東京都江東区大島^{コウトウ オオシマ}3の2の6
氏名 株式会社^{ヨシノ}吉野^{コウキョウ}工業所^{ヨナイ}内^{ヤマ}山^{ナカ}中^{ノブ}伸^{オウ}夫 (外1名)
3. 実用新案登録出願人
住所 東京都江東区大島^{コウトウ オオシマ}3の2の6
名称(690)株式会社^{ヨシノ}吉野^{コウキョウ}工業所
代表者^{ヨシノ}吉野^{ヤタロウ}弥太郎 (外1名)
4. 代理人 ^マ
住所 東京都新宿区新宿2-14-6 早川屋ビル201号
電話 341-7446 160
氏名 弁理士 (6815) 今岡良夫 [®]
5. 添付書類の目録
(1) 明細書 1 通
(2) 図面 1 通
(3) 願書副本 1 通
(4) (委任状 2 通) 追って補充
(5) ~~審査請求書~~ 通 7字削除



明 細 書

1. 考案の名称 紙の取出し口の構造

2. 実用新案登録請求の範囲

2枚の板体を適宜間隔で対峙させ、その相互に互交に位置を異にしてそれぞれ取出し孔を設けたことを特徴とする紙の取出し口の構造。

3. 考案の詳細な説明

本案は、濡れナプキン、紙タオル、ティッシュペーパー等のミシン目破断線付連続紙の取出し口の構造に係る。

従来、上記連続紙を収納する容器が種々市販されている。

かつて、この種の容器は、取出し口が極めて単純で、大きく孔を明けただけのものであつた。従つて、収納されている連続紙を引出して後、これを手で破断しなければならず、また、破断後の後続紙先端が容器中に没することがあつて、後ほど引出すことが容易でない等の不便があり、さらに、湿潤紙に用いる場合は、別に大きな蓋を要し、取出しの都度蓋を十分に閉じないとたちまち中の紙

が乾燥してしまう欠点があつた。

近來、その一部が改善されて、取出し口から紙を引出した際、自動的にミシン目破断線で切断され、後続紙の先端が取出し口に保持されるようになった。

しかし、これまでのものは、紙を垂直に直線的に引出すものであり、例えば、放射線状に孔を設けて、紙がその狭い孔を縮まつて通過する際に、その孔の孔縁として形成される尖つた舌片の先端で紙に引掛け状に大きく摩擦抵抗^{を与え、これ、}によつてミシン目破断線の通過と同時に該破断線に集中的に引張りの破断力を作用させて切断するものである。 6字加入

従つて、一部が改善されたものの、紙が引出し中に裂け、湿潤紙の場合はより具合が悪く、微細な削屑が発生する等新な欠点が発生している。また、孔も未だ大きく、乾燥防止の手段が全く講じられていないので、湿潤紙に用いる際の欠点は改善されていない。

本案は斯る従来の欠点を除去しようとするものである。以下、図示の実施例について説明する。

図において、1は折畳まれた破断線付連続紙を収容する容器の身、2はその蓋であり、該蓋2は身1に着脱自在にかつ気密に嵌着されるようになっている。

蓋2は取出し口3を備えており、該取出し口3は蓋2の天板4の中央が円形に窪み、該円形窪み5の底部6が取出し口の一方の板体Aを構成している。

上記円形窪み5内には周壁7にリング8が嵌めてあり、該リング内面にリング内を閉じる態勢で取出し口の方の板体Bをなす扉9が嵌まり、これがリング8の一部でヒンジ結合10されている。なお、リング8と周壁7との嵌合は容易に外れないように突条と凹溝とを設けてしつかり嵌めるとよい。

また、上記一方の板体Aつまり円形窪みの底部6と他方の板体Bつまり扉9とは適宜な間隔で平行に対峙させ、相互に互交に位置を異にして細長の取出し孔11、12が設けてあり、さらに、一方に係合突子13が、他方にこれに嵌合に係合凹部14が

設けてあつて、係合凹部14の外周は扉のノブ22を兼ている。

蓋2の天板4の上面は、上記円形窪み5の周辺が一段低位面15となつており、その一端がさらに低位面16となつている。そして、上側の低位面15部には上蓋17が嵌まり、該上蓋17は上側の低位面15部の他端で蓋2にヒンジ結合18されて開閉自在となつている。また、上蓋17の内面に上記リング8の内周へ気密に嵌合の円形突条19があり、上蓋17の端部と、上記2段の低位面15、16の境の段部とに、互いに係合する係合突条20、21がある。

なお、上記の蓋2と上蓋17及びリング8と扉9は、それぞれ合成樹脂で一体成形されており、それらのヒンジ10、18部は肉薄にすることにより得ている。身1も合成樹脂製である。板体Bに代え板体Aを扉にしてもよい。

而して、身1内に連続紙を納めるときには蓋2を身から外すが、その際に上蓋17を開きかつ取出し口3の板体Bつまり扉9をノブ22を以て開扉しておき、連続紙の先端を取出し口3の板体Aつま

り円形窪み 5 の底部 6 にある細長の取出し孔 11 に通し、次いで、板体 B にある細長の取出し孔 12 に通して、板体 B を閉扉し、その後連続紙の入った身 1 に蓋 2 を嵌合する。

この状態において、突出している連続紙の先端を引張ると、取出し口 3 が、板体 A と B が適宜な間隔で平行に対峙しかつこれらに互交に位置を異にして細長の取出し孔 11、12 がある構成なので、引出される連続紙は、取出し口 3 内でクランク状に屈曲されつつ引出されることになり、その屈曲により多大な摩擦抵抗を受ける。これによつて、連続紙のミシン目破断線が外側の取出し孔 12 を通過したところでその破断線に集中的に引張り破断力が加わり、切断される。勿論、その際、後続紙先端が取出し孔 12 の位置に保持され、落込むことはない。

以上に述べた容器は湿潤紙の使用に好都合のものであり、上蓋 17 を閉じれば、上蓋内面の円形突条 19 がリング 8 の内面に気密に嵌り、密閉されるので、湿潤紙の乾燥を確実に防止できる。

本案によれば、取出し口内の通路が極めて長く、連続紙がクランク状に屈曲されつつ引出され、両板体にある2つの取出し孔は単純なそして小さいものでよいから、湿潤紙容器に使用した際他に蓋がなくとも容器内の紙の乾燥は著しく少ない。また、連続紙の引出しに多大な摩擦抵抗が加わってミシン目破断線での破断を確実に得ることができると共に、摩擦抵抗は従来のように尖った舌片の先端で引掛け状に極部的に極端に加わるものではないので、従来のように、紙が裂けたり、微細な削屑が生ずるようなこともなければ、湿潤紙に具合の悪いこともない。勿論、切断後の後続紙の先端は確実に位置が保たれ、外れて落込むことは皆無である。

4. 図面の簡単な説明

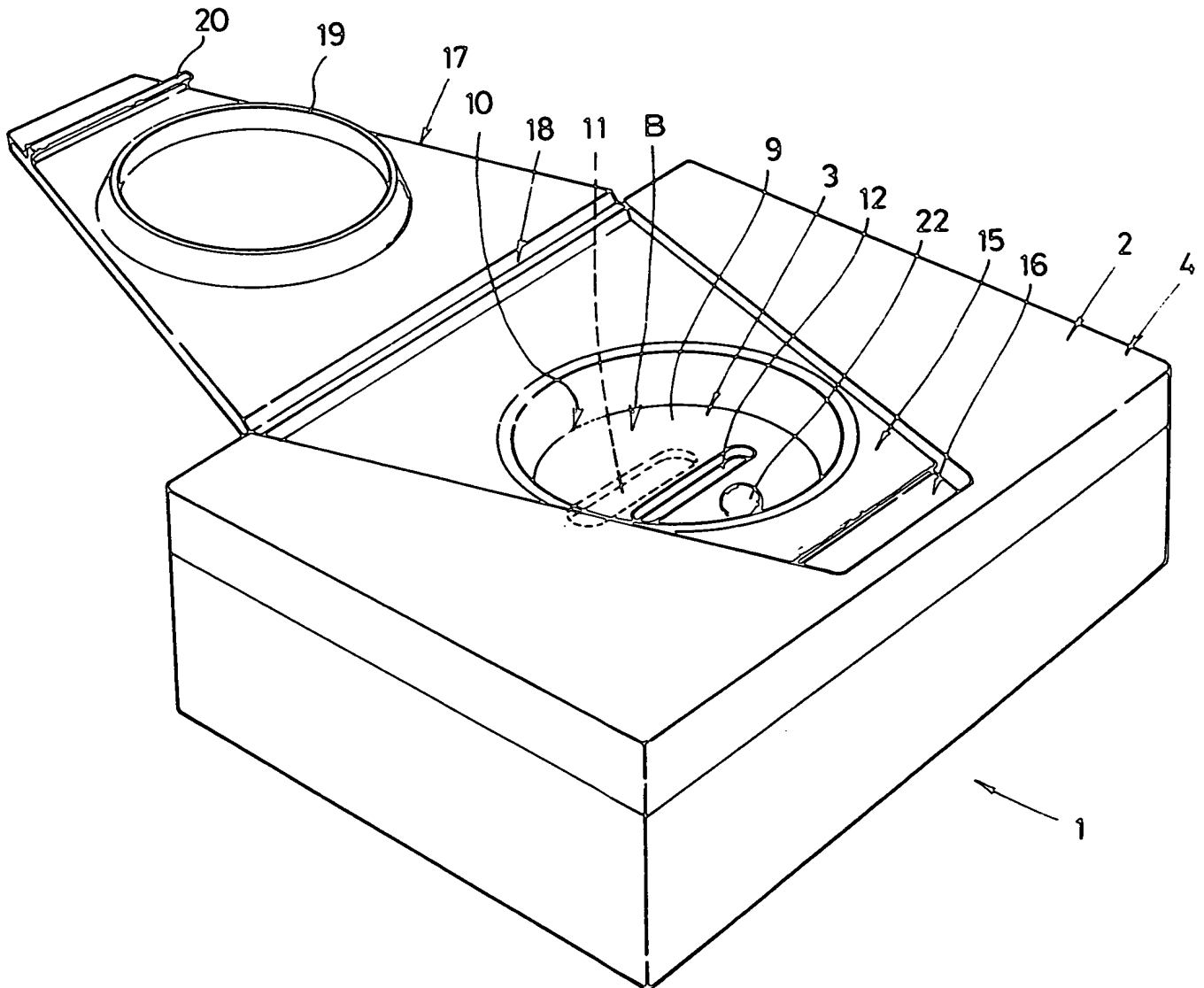
図面は本案の実施例で、第1図は本案を適用した容器の上蓋開放状態における斜視図、第2図第3図はその上蓋開放状態及び上蓋閉鎖状態の各縦断面図である。

A, B…板 体 11, 12…取出し孔

3 … 取 出 し 口

実用新案登録出願人	株 式 会 社	吉 野 工 業 所
	中 村 物 産 株 式 会 社	
代 理 人	今 函 良 夫	

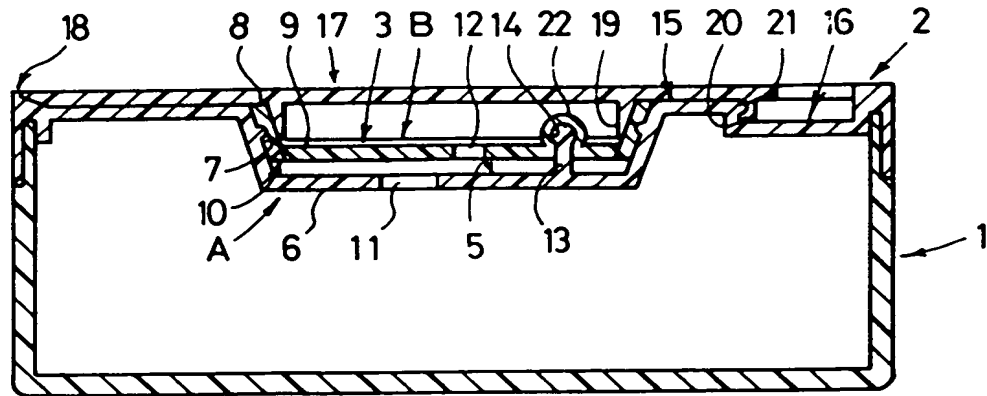
第1図



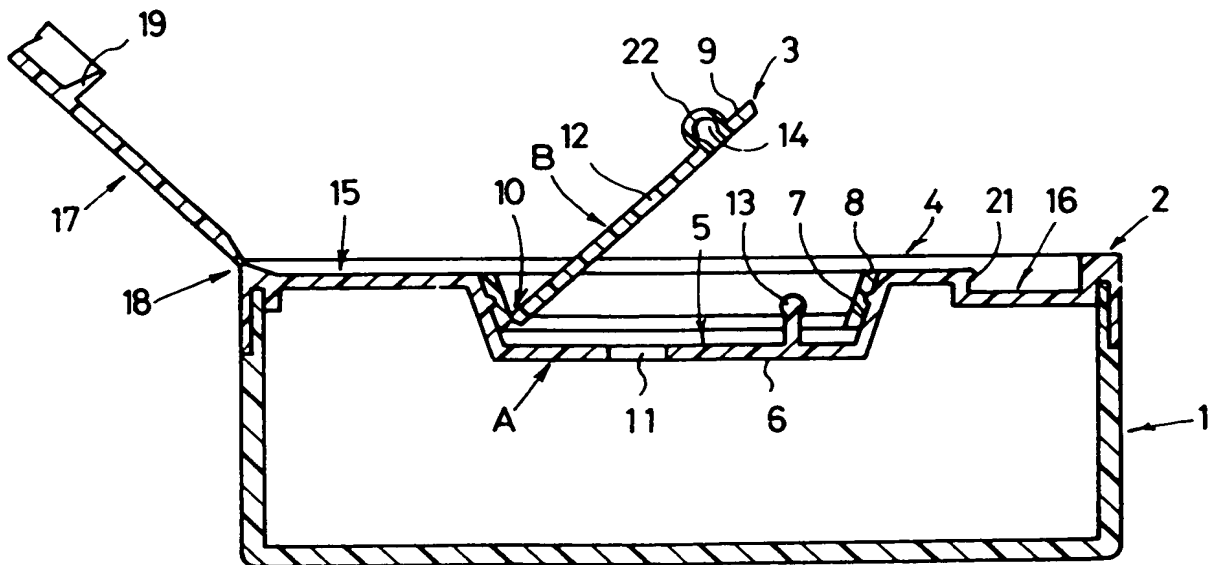
123941 1/2

出願人 株式会社吉野工業所
中村物産株式会社
代理人 今岡良文

第2図



第3図



123941 $\frac{2}{2}$

出願人 株式会社吉野工業所
中村物産株式会社
代理人 今岡良夫

6. 前記以外の考案者

住所 ^{オオサカ ミヤコジマ ミヤコジマキタドリ}
大阪府大阪市都島区都島北通

1 の 2 の 16

^{ナカムラアソサン ナイ}
中村物産株式会社内
氏 名 ^{ナカ ムラ ケン シ}
中 村 憲 司

7. 前記以外の実用新案登録出願人

住所 ^{オオサカ ミヤコジマ ミヤコジマキタドリ}
大阪府大阪市都島区都島北通

1 の 2 の 16

^{ナカムラアソサン}
名称 中村物産株式会社
代表者 ^{ナカ ムラ ケン シ}
中 村 憲 司